

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 03	目 03	細目 632	細々目 51
	事業名	0540		臨時河川等整備事業								
	基本施策	20	美しい川の環境を維持する	所属	190500	建設部建設1課 事業推進係	連絡先(記入者) 赤尾 隆司 43-2323 (内線)236					

概要	事業概要	局所的な集中豪雨の危険性が増大し都市化の進展による流域の保水力は一層低下おり、河川改修による浸水被害の防止を図る目的である。また、準用河川里川については、国補事業により河川改修を施工している。(延長0.3km 本年度完成予定)						事業期間					
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号 2				
	対象(誰を、何を)	河川近隣の住民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	降雨時における浸水被害の解消が図れる						件	4	6	3	3	
H24実施内容	社会資本整備総合交付金事業 準用河川里川河川改修工事L=80m 準用河川大谷川河川浚渫工事L=50m、準用河川怒川河川浚渫工事L=80m、準用河川前川河川浚渫工事L=305m、準用河川広出川河川浚渫工事L=35m、準用河川鯉川管理通路舗装工事L=90m												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
	活動指標	河川改修延長(工事)	m	H23	H24	H25	H26		
				目標 35	目標 80	150	150		
成果指標	実施した箇所数	件	実績 40	実績 80	3	3	3	河川整備することにより、浸水被害箇所を軽減する(予定箇所数/実施箇所数)	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率 33.3%)	11,016	22,200	20,000						
	県費 (補助率)									
	地方債		40,000	39,400						
	その他	32,384	5,360	9,150	10,000	10,000	10,000	10,000		
	合計(A)	43,400	67,560	68,550	10,000	10,000	10,000	10,000	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業費	測量設計業務委託費	572	1,810						
		工事費	26,082	58,440	62,000	9,500	9,500	9,500	9,500	
		用地費	3,510							
		補償費	11,276	6,591	4,000					
		その他事務経費	1,960	719	2,550	500	500	500	500	
		小計(B)	43,400	67,560	68,550	10,000	10,000	10,000	10,000	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数 1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	
	人件費	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	人件費									
	小計(C)	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777		
	合計(D=(B+C))	49,082	73,337	74,327	15,777	15,777	15,777	15,777	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	95	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
浚渫が必要な河川が多数有り、事業を中止すると、人命、財産に対する浸水被害を軽減できない。	(概ね)順調		
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		事業効果を高めるため、緊急性を判断した工事採択を行う。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	緊急性を加味した工事採択に取組む。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 今年度は、準用河川里川河川改修を継続施工しており、今年度末までに完了させる。
現時点における課題及び課題に対する改善策	多くの浚渫要望等が届けられるが、工事採択が遅れている。緊急性を加味した工事採択に取組む。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中井 秀幸	現状維持	豪雨時の洪水を安全に流下させる為、河川護岸の整備と流下能力回復の為の浚渫工事を望む地域要望は大きく、引続き市民の生命・財産を守る為の、河川改修を進める必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0541 臨時河川等整備事業					01	08	03	03	632	51
	基本施策	20 美しい川の環境を維持する	所属		191000	建設部建設2課 事業推進係	連絡先(記入者) 森中 徹 43 - 2329					

概要	事業概要	洪水による氾濫防止や、河川環境の保全を図るため、計画的に浚渫等の維持工事を行う。						事業期間 平成 16 年度 ~ 平成 年度				
	根拠法令・要綱等	河川管理施設等構造令			審議会・委員会等							
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	河川近隣の住民			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
	成果(どうする)	洪水による氾濫の未然防止や、河川環境の保全を図れる。										
	H24実施内容	普通河川長谷川浚渫工事 普通河川見合谷川護岸補修工事委託										

指標	活動指標	実施した箇所数	件	実績値				目標値		説明
				H23		H24		H25	H26	
	成果指標	計画に対する進捗率	%	目標	3.0	目標	1.0	2.0	2.0	執行事業費/全体事業費
				実績	2.0	実績	2.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)			
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額				
	[収入]	使用料・手数料										
		国費(補助率)										
		県費(補助率)										
		地方債										
		その他										
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	事業費	工事委託料		1,881							
			工事費	726	4,934	6,000	10,000	10,000	10,000	10,000		
			修繕料	774	815							
			その他事務経費									
			小計(B)	1,500	7,630	6,000	10,000	10,000	10,000	10,000	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
		人件費	正規職員	人数	0.1人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	
	人件費			568	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889		
臨時・嘱託・再雇用職員	人数											
	小計(C)	568	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889				
	合計(D=(B+C))	2,068	10,519	8,889	12,889	12,889	12,889	12,889	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,068	10,519	8,889	12,889	12,889	12,889	12,889				
	(うち繰越金)											
	※前年度比	—	8,450	△ 1,630	4,000	0	0	0				
	対象者あたり一般財源充当額											

事後評価	必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業								
	有効性	※廃止したときの影響		達成度		※未達成事項記入欄		効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
		順次河川整備する状況であり、家屋及び農地等の浸水被害が解消されない。		(概ね)順調				事業効果を高めるため、緊急性を判断した工事採択を行う。		
	関与の妥当性				協働の状況など					
	実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)		負担金・補助金・交付金		※委託内容及び委託先の存在				
		委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)						
	昨年度記載した改善策	厳しい財政状況の中、多くの浚渫要望が寄せられているが、その工事の採択が遅れている。			左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】		計画のとおり進んでいる。	
							緊急性を判断し工事採択を行い、浚渫工事及び護岸補修工事を実施した。			
現時点における課題及び課題に対する改善策	現時点における課題: 厳しい財政状況の中、多くの浚渫要望が寄せられているが、その工事の採択が遅れている。 課題に対する改善策: 緊急性を判断し工事採択を行い、環境に配慮した河川整備を行う。									
今後の方向性	担当課長氏名	内田 泰成		方向性	現状維持		理由			
							洪水による氾濫防止や河川環境の保全を図るため、計画的に浚渫を行う必要がある。近年の局地的な集中豪雨により、青山地区の河川低下が発生しており、既設護岸の崩壊が懸念されることから、計画的に河川整備(河床根固め工事)を行う必要がある。			